

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・ 中国から永住帰国した残留邦人の地域社会での生活を支援

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

中国残留邦人の生活を支援するものであり、指標は設定できない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	スクーリング事業や交流事業など、必要な事業を実施し、永住帰国した残留邦人の生活を支援した。 スクーリング事業 受講者10名 派遣回数118回 交流事業 参加者10名 参加回数 4回
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	スクーリング事業や交流事業など、必要な事業を実施し、永住帰国した残留邦人の生活を支援した。 スクーリング事業 受講者8名 派遣回数102回 交流事業 参加者10名 参加回数 3回
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	国家としての戦争により中国残留邦人となった方への生活支援が必要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	中国残留邦人となった方への生活支援ができており、効果が得られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 1	必要に応じて実施

(今後の課題)

必要に応じて適切に実施

(次年度の方向性)

必要に応じて適切に実施

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】